

**共同利用実施報告書(研究実績報告書)**  
(災害軽減研究)

1. 課題番号            2014 -Y- 火山4 (※ )

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)

和文: 草津白根火山の過去 5000 年間の活動履歴の解明

英文: The past 5000 years' eruption history of Kusastu-Shirane Volcano

3. 研究代表者所属・氏名            山梨県富士山科学研究所 吉本 充宏

(地震研究所担当教員名)

4. 参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	参加内容
吉本充宏	山梨県富士山科学研究所・主任研究員	草津白根山最近 2000 年間の活動について
石崎泰男	富山大学大学院理工学研究部・准教授	草津白根火山本白根火砕丘群の噴火履歴
寺田暁彦	東京工業大学火山流体研究センター・講師	本白根山の熱活動
上木賢太	海洋開発機構・研究員	草津白根火山のマグマ混合過程について

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

吉本充宏：テフラ層序の確立と放射性炭素年代測定により草津白根山最近2000年間の活動を明らかにした。

石崎泰男：地質層序および噴出物の全岩化学組成を用いた草津白根火山本白根火砕丘群の噴火履歴の解明とテフラの構成物および粘土鉱物組成からみた過去5000年間の噴火活動様式の変化の解明を実施した。

上木賢太：斑晶鉱物の化学組成とその微細構造から草津白根殺生溶岩のマグマ混合過程の推定を行った。

寺田暁彦：本白根山の熱活動観測を実施し、最近の草津白根山の活動を取りまとめた。

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)

・濁川暁・石崎泰男・吉本充宏・寺田暁彦・上木賢太・中村賢太郎,2014,噴出物の層序と全岩組成からみた草津白根火山本白根火砕丘群の完新世の噴火履歴,日本火山学会講演予稿集,139. (謝辞有)